

オンライン(再配信) / DVD受講も可

プラス+1講座
「大きな紙に挑戦!」

講師: 浅田美知子

講座① バラをかく

講座② 仏さまをかく

配信期間: 5月15日(金) 昼12時~6月15日(月)

16時まで

申込締切: 6月4日(木) 必着 **締切間近!**

*詳しくは5月号62頁をご覧ください。



浅田美知子 講師
(日本絵手紙協会公認講師)



対面講座

大阪会場「全6回 登坂和雄の

日程

6月~11月までの全6回

11時~14時30分

(昼食休憩を含め3時間30分)

第4土曜

会場

大阪・絵手紙ホール

(地下鉄御堂筋線「本町駅」徒歩1分)

受講資格

『月刊絵手紙』定期購読者

(公認講師または公認講師資格を目指すかた)

*残席限りのため満席の際はご容赦ください。

*詳しくは4月号62頁をご覧ください。



登坂和雄 講師
(日本絵手紙協会会長)

発表の場で思わぬ
自分を発見!



絵手紙100年塾

受講生の声

東京の100年塾より

ひと足先に卒業した皆さまの感想を紹介します

◎まだやれるかも、と

「絵手紙を未来に続ける「100年塾」の名称に心惹かれました。もう一度チャレンジしたい、まだやれるかも、と「次世代を育てる」という言葉に、ためらう気持ちを押さえて受講してみました。出会いがあり多くの刺激をもらえました」(山下祐富子さん)

◎学ぶ楽しさを知りました

「自分が井の中の蛙と知り、とても刺激となりました。皆さまがそれぞれ努力され、視野を広げられていること、私に足りないことを知ることができました」(Hさん)

◎あつという間の半年間

「講師をめざしています。基本から学びたい、人との交流を深めたいと参加。普段味わえない緊張感や人前での発表は、頭も心臓も鍛えられました」(Hさん)

◎有意義な勉強に

「(100年塾は)絵手紙のコツを勉強するのではなく、絵手紙に対する心を鍛える内容だと思えます。初回は大変でしたが、回を重ねて参加者の熱意も直に分かり、大変有意義な勉強になりました」(児島美紀さん)



東京会場 グループワークの様子

このほか、東京・大阪・福岡の講座を63-64頁で募集中。併せてご覧ください。

6月からいよいよ大阪にて開講の「登坂和雄の絵手紙100年塾」。皆さまのご参加をお待ちしています!

次号予告 宮沢賢治

- 80 ご注文方法
- 79 『月刊絵手紙』定期購読のご案内
- 78 「絵手紙友の会」からのお知らせ / 編集後記
- 77 日本絵手紙協会へのアクセス
- 76 ボランティア部からのお知らせ
- 74 日本絵手紙協会・推薦教材
- 72 栄村国際絵手紙タイムカプセル館だより
- 70 小池邦夫絵手紙美術館ニュース
- 68 投稿の募集要項
- 66 あなたの街の絵手紙情報(展・体験)
- 63 (受講生募集中)講座のご案内

〈日本絵手紙協会からのお知らせ〉

- 60 ◎前野郁子の実るように咲くように
- 59 「絵手紙の力を借りて母と父の言葉を聴く」
- 58 ◎通ったのしみ、学ぶワクワク!
- ◎「絵手紙教室 講評拝見」
- ◎節気を感じて「軽やかな暮らし」
- ◎日本絵手紙協会からのお知らせ

- 50 新コーナー 絵手紙クリップ
- 48 木もれ日「私を変えた一日」 高木みどり
- 47 essay アーサー・ピナード
- 46 誌上レッスン 絵手紙教室
- ◎小池邦夫の絵手紙教室
- ◎「書き魔」坂村真民 詩記
- ◎兼岩幸恵の小さくても一歩
- ◎猫江教室のノートから
- 30 自由絵手紙 / なんでも100字 / 活動報告
- 29 新連載 書の手紙 / なんでも100字 / 活動報告
- 26 柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎
- 24 山田喜代春の詩画世界
- 23 新連載 中川越のことばの旅
- 24 柳宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎
- 23 新連載 書の手紙 / なんでも100字 / 活動報告
- 06 特集 今日誰かの光となる
- 04 登坂和雄の一語一絵(念)
- 巻頭 古拙微笑

もくじ

月刊絵手紙2026年6月号



今月の「小池邦夫のことばカード」は

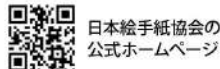
無我

手紙を書いていると人の目を気にしない。自分らしさが咲く。

花の季節になりました。特集は「念ずれば花ひらく」と生きた坂村真民さん。それぞれの花が咲きますように。



*毎月裏表紙でご紹介するカードは編集部で「今月号に合うカードは?」と思いながら引いた一枚です。



日本絵手紙協会の
公式ホームページ

公式Instagram
etegami_society

公式X(旧Twitter)
@Etegami_Society

真民さんの 詩の力

小池邦夫が折々に励まされ続けてきた坂村真民さんの詩。そこには自分を律する凛とした言葉だけでなく、家族を思うあたたかい言葉、自然の一員として生きることへの戒めと感謝など、人間として生まれた喜びが込められています。

うた

うれしいときには
うれしいうたがうまれ
かなしいときには
かなしいうたがうまれる
できるだけ
うれしいうたをつくろう





富田和子(兵庫)
夕暮れ西の空、母の笑顔とおしゃべり。



判田喜久美(福岡)
春になると動き出す公民館のめだかちゃん。トントンと鳴らすと顔を見せてくれます。今年もお互い元気でいようね。



山田良子(佐賀)
有明海は月の引力(干満差7m)を利用した海苔作りをしています。海の恵みを得て日本一の海苔ができました。



藪木恵子(大阪)
ちょっとした出来事でうつむいて歩くと、足元の小さな自然たちが「ほらほら下ばかり見てないで、元気出して!」と励ましてくれるのです。

かいて、送って、みんなでおしゃべり



読者投稿

ひろば

テーマ「身近な自然とおしゃべり」

話しかけたり、かけられたり。自由にお話してみませんか

・自由絵手紙 ・なんでも100字 ・活動報告



佐々木瑞子(大阪)
医者に安静と言われた週間、ふりに散歩道を通ると真赤な花桃が迎えてくれました。話しかけずにはいらなかった。

32歳年上の「真民さん」の生き方、創作へ向かう姿勢は、小池邦夫に影響を与え続けました。小池の手がき通信より2つご紹介します。

絵手紙教室

初心から学ぶ『ヘタでいいヘタがいい』

月刊誌を使って
好きな時に好きな場所で
学んでいきましょう

今月は小池邦夫の絵手紙は休載です

書魔

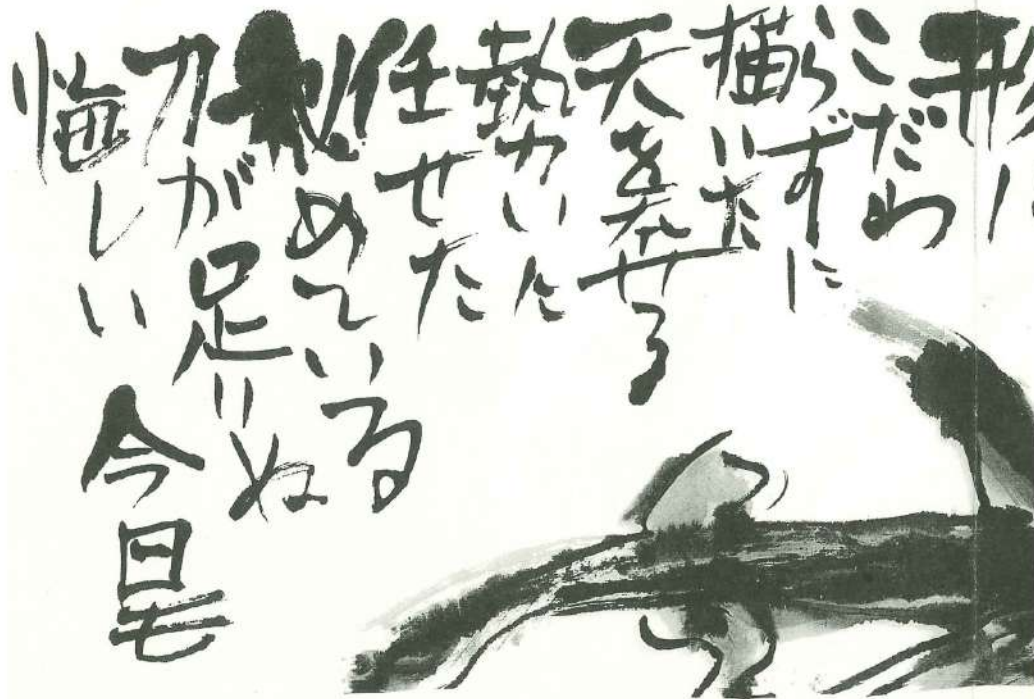
小池邦夫

鳩居堂展が終
わつた翌日、松山市の
石部町に行つた。
坂村直民さまを
めぐらした。直民さま
の筆字やペン字
に会いたかつた。
二〇〇六年に九七歳
で亡くなつた。
私は松山の、ちよつ
とジウで初個展
を南に。山下ニリ

直民さんげの
年初百いせーた。
一九六二年から
個人詩「詩国」
を毎月一回刊行し
て、一回も休まず五百
号も出さ結ける。
封筒の宛名を
約千人に一人つ
つ年書百きせん。
直民流年賀、
である。
年書百きにこれ
わつた。初めし
今、初めし
直民さんの日記
を見た。
二百ページハイト
が八百余冊キ
お高く積みま

直民さんげ現
40分はいた。何を
も語つたか心に
二一着するおけで
元氣になる。
二回展も三回展も
見て下さつた。色紙
や短冊の書もプレ
ゼントされた。
「いい書白ですわ」と
言つた。こいや、おほ
コンプレックスやあ
とや合える。お世辞
を言つたのではなが
直民さんは直民
で自信もなご言
午紙の「おまひん」
こうして自分の書
できたのたろ。
中川一政さまの書
本もお送りしたろ。
いんく士ははれ
いんくな字はあや
ゆるかもしれな

「詩」
と大書目さる。
91歳の日記に
「二七ではいかん
と書目かこれろ。
と書目かこれろ。
見ると、毎日の
トランに書目く。
十日以内で冊が
終める事さ
ある。
ハートがつか
これは年書キ
ライブだ。年の
勢、か延々と
アブク。書目シ
で身を律して
いる。
直民さんは、
おが年書百き残
そいつ。年は使
使うほど増える。
ヨシ、年書百き
たなる年書百き
年月つ。自分の実が



小池邦夫「おしのび通信」no.91 (2012年1月号)よりご紹介しています

こいけ・くにお
絵手紙の創始者。1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいいヘタがいい」をモットーに絵手紙文化を

広める。その活動が評価され、東京都柏江市初の名誉市民に選ばれるほか、文化庁長官表彰など受賞も多数。2023年8月31日82歳で永眠。